

『人と人がつながるピア・サポート』

～積極的に、普段から、すべての活動で～

藤枝市立瀬戸谷中学校

1 ピア・サポート活動年間プログラム

月別	ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事	プログラム	職員研修
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージ集会Ⅰ ・一年生を迎える会 	<ul style="list-style-type: none"> ・「お互いの認め合い」について全校で話し合う。 ・縦割りの仲を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピア・サポートの考え方を全職員で共通理解。
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・学年行事 ・学年行事発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピア・サポートの観点から行事をふり返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示等による発信
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージ集会Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「仲間との挑戦」について全校で話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示等による発信
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・小中合同体育祭結団式 ・体育祭練習計画作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生の縦割りで体育祭への練習等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示等による発信
8月			
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージ集会Ⅲ ・小中合同せとやっこ体育祭 ・ピア・サポートトレーニング① 	<ul style="list-style-type: none"> ・「仲間との創造・発信」について全校で話し合う。 ・小1～中3までの異年齢集団での体育祭を行う。 ・全校でトレーニングを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示等による発信 ・ピア・サポートトレーニングの計画
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭 	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱の練習や発表を通して、クラスの絆を深める。 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・せとやっこ総合発表会（感謝の会） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピア・サポートの観点から総合をふり返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示等による発信
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージ集会Ⅳ ・ピア・サポートトレーニング② ・校内駅伝大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校でトレーニングを実施。 ・校内駅伝チームの絆を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示等による発信 ・ピア・サポートトレーニングの計画
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2年生が説明会を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本紙の作成
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・専門委員会でのふり返り ・ピア・サポートトレーニング③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピア・サポートの観点から委員会活動をふり返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示等による発信
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・三年生を送る会 ・自主的奉仕活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・在校生が3年生に感謝の気持ちを表わす。 ・卒業生が、奉仕作業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示等による発信

2 本校のピア・サポート活動の紹介

・ピア・サポートキャラクター「瀬ピア」

〈提言1〉

H27年度の生徒会が、瀬戸谷中学校オリジナルのピア・サポートキャラクター「瀬ピア」を作り上げた。現在では、小中学生が使うトートバックや挨拶運動ののぼりなどにもつけられ、瀬戸谷のピア・サポートの象徴になっている。



瀬ピア

・ありがとうメッセージ 〈提言7〉

昨年度、健康専が企画したものを今年度も実施した。全校生徒から「ありがとう」に関するメッセージを回収し、廊下に掲示した。

学級の仲間はもちろん、学年を越えてメッセージを送り合うことで、全校でピア・サポートの意識を高める活動となった。



ステージごとに実施し、4ステージで1つの掲示ができあがります。

・小中合同体育祭 〈提言4〉

H24年度から体育祭を瀬戸谷小学校と合同で行っており、本年度は7回目を迎えた。種目を通しての関わりに加えて、声の掛け方や計画など、回を重ねるごとに小、中それぞれの立場を考えた動きができるようになってきている。今年度は小・中学生でスローガンを考え、思いを1つにして練習、競技に臨んだ。当日は、中学生が小学生に自然に手を添えて温かくサポートする姿が見られた。



・ピア・サポートトレーニング 〈提言5〉

昨年度から実施している。教師がピア・サポート研修で学んだことを生かし、全校生徒を対象に年3回実施した。「上手な断り方」のトレーニングや「感じ方の違いを理解する」トレーニングを行った。縦割りの集団で、関わり合うことで安心感をもてる活動になった。



・小中合同授業 〈提言4〉

中学生が小学生に指導する授業を実践した。体育・音楽などで中学生が小学生に丁寧に教える姿がみられた。授業を通して、小学生から憧れられる立場になることで、自己肯定感の醸成と授業意欲の高揚につながった。



・ステージ集会 〈提言6〉

評議委員会が中心となってステージごとの見通しや目標を持つ会を実施した。第4ステージ集会は、1年生が主体となって行い自分の成長や関わってくれた方への感謝を全校の前で述べる機会となった。企画の段階から、3年生にアドバイスを求める姿が見られ、生徒どうしの関わりを深める活動にもなった。



・せとやっこ総合 〈提言8〉

今年度は、総合的な学習の時間の活動を縦割り集団の2隊にわけ、実施した。(太鼓の演奏を行う「和太鼓実践隊」、福祉活動・瀬戸谷の魅力を発信する「瀬戸谷ふれあい隊」)

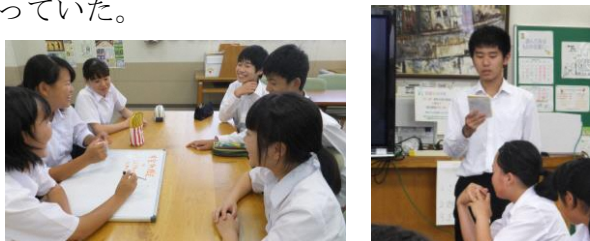
各隊とも、縦割り集団の中で、支え合い、協力し合ってお互いを高める姿が見られる。

活動の発表は、地域産業祭である「せとやまるかじり」で行う。瀬戸谷の一大イベントの中で自分たちの実践を披露するため、地域の方々のことを考えて工夫する姿が見られる。



・フリートーク 〈提言6〉

昨年度後期から生徒会の企画で、全校フリートークを始めた。テーマをアンケートで募集し、学校生活の向上や体育祭の種目決めなどをテーマに、自由に意見を言い合う時間となった。3年生が1年生の意見に温かく耳を傾ける姿や、2年生が3年生の意見に憧れをもつ姿が見られ、ピア・サポートの活動となっていた。



3 本年度の成果と課題

[成果]

- ・昨年度始まった「ありがとうメッセージ」が生徒主体のピア・サポート活動として定着し、「仲間に支えてもらっている」という子どもたちの意識が育っている。

- ・「小中合同体育祭」も7回目となり、小学生、中学生がお互いの立場を考えて行動できている。本年度はスローガンの決定など、さらに「一緒に考えたり、創り上げたりできること」を実行し、小中一貫でのピア・サポート活動となる行事となった。
- ・「せとやっこ総合」では、本時の目標や振り返りの中に、ピア・サポートについての欄を設け、毎回の活動にピア・サポートの意識、視点をもって臨むことができた。
- ・「ステージ集会」や「フリートーク」では縦割り集団での話し合い活動を設定し、学年を越えて良さを認め合うことができた。
- ・「ピア・サポートトレーニング」を通して、日々の生活の中で自然にできるピア・サポートを学ぶ機会となった。また、教師のピア・サポートの土台となる考え方、接し方を確認する機会となった。

[課題]

- ・小中一貫教育としての様々な行事の目的にピア・サポートの視点を小中職員の共通理解のもとで設定する必要があると感じた。

4 来年度に向けて

[職員の見通し]

- ・小中一貫教育として、小、中の職員が連携してピア・サポート活動を推進できるような工夫、研修をする。
- ・小中一貫の行事で生徒が行っているピア・サポート活動を価値づけることで、自己肯定感の醸成に繋げる。

[生徒の見通し]

- ・多くの人との関わり方の場として、地域の方との触れ合いや行事への参加を継続する。
- ・行事などのふり返りで、生徒同士の相互評価を継続していく。
- ・ピア・サポートトレーニングを行う全校集会を継続していく。
- ・「ありがとうメッセージ」を継続し、全校のピア・サポートの意識をさらに高める。
- ・縦割り活動、小中一貫行事を継続するとともに、それらの目的の中にピア・サポートの視点を明確にし、ピア・サポートの意識を高める。